被災地の教会を訪ねて

東北巡礼

十二月五日から三日間、名古屋教会の有志八人は南東北の教会、被災地を巡りました。復興で大変なときに伺うのはご迷惑ではないかと悩みましたが、七月の公会時のマルコ小池神父さま、被災地の三執事長の「とにかく来て見てください」ということばに背中を押されて、石巻、涌谷、金成、一関、気仙沼、盛（大船渡）、仙台の七教会にうかがいました。

今回訪問した中で津波の大きな被害があったのは石巻、気仙沼、大船渡です。教会の建物は無事だったものの、信徒とその家族十一名が命を落とし、多くの方が家や仕事場を失い、不自由な生活を送っておられます。ガレキや倒壊した建物もずいぶん片付き、一見すると広々とした造成地のようですが、あちこちに残るコンクリートの残骸、曲がった電柱が、そこに街があったことを物語っています。「何もない」景色、そこからテレビの映像では決して伝わらない深い喪失感が迫ってきます。

どちらの教会でも私たちをあたたかく迎えてくださいました。三日間も水に浸かった家屋に閉じこめられていたおばあさん、車から脱出し泳いで津波を逃れた男性、どうやって救出されたか二日間全く記憶がないというおじいさん、直接聞くお話はどれもすさまじく、想像を絶します。しかしみなさんの表情は驚くほど明るくやさしく、いのちの光に満ちていました。神は最も弱いところに働く（コリンフ後書12・9）ことを目の当たりにしたようでした。

セラフィム主教座下を始め神父さま方は、交通困難な時期から被災地信徒を頻繁に訪問され、盛で合同復活祭、石巻で合同パニヒダなどを行い、教会をいち早く復興させ、信徒の心の支えとしてこられました。

今回は時間の都合で参加できませんでしたが三陸訪問の翌日七日、津波で焼失した山田教会の跡地に十字架が建ちました。頂いた写真を見ると、まるでそこにハリストスが立っておられるようです（写真次頁4）。

1 修復が終わった金成教会。聖使徒イオアン聖堂。夜空に美しく鐘が響く

2、3 石巻、聖使徒イオアン聖堂。津波に襲われたが倒壊は免れた。当時の様子を口々に物語る信徒の皆さん。佐々木執事長は避難所のリーダーを務めるかたわら信徒の消息を歩いて確かめてまわったという。

私たちには「祈ることしかできない」。そのとおりです。しかし祈りには力があります。神は必ず応えてくださいます。今回みなさんにお会いして、それを確信しました。ともに祈りましょう。私たち名古屋の信徒も新聖堂建設でいろいろな困難に直面したとき、必死に祈り、また全国の、さらに世界の正教の兄弟姉妹の祈りに支えられました。教会は家族です。私たちはこれからもっと祈ります。記憶します。私たちの主は「神は我等とともにす」という名を持つお方です。（マトフェイ1・23）

テレビなどで見覚えのある光景が、行く先々に生々しく拡がっていました。涙が運転をさえぎることがしばしばでした。私たちは自分の都合に合わせてテレビのスイッチをきれば瞬時に消し去ることができますが、被災地の皆様は、この現実から逃れることができません。私たちにできることは、忘れないでいること、一緒に考えること、応援し続けること、それしかないとあらためて思いました。（E）

東北の神父さまはじめ皆様には深い悲しみの中、私たちを暖かく歓迎して下さった事 お礼申し上げます。三日間ではありましたが昼食を三回夕飯を二回皆様と至福の時を共有でき、貴重な思い出となりました。 そして苦難の日々をお聞きしているうちに 私たちにできる事は祈る事のみと実感いたしました。皆様の幸せと一日も速い東北の復興を心より祈ります。（A）

津波や火災で消失した町に船が横倒しになっていたり、車がガレキの山になっていたり、あらためてその恐ろしさを知りました。しかしどこの教会も復興が進んでいて感動しました。（N）

みなさんの素敵な笑顔に、かえって私たちの方が励まされました。来させていただいて本当によかったと思います。他の皆さんもぜひ行って見てください。自分の目で見ることはテレビとは全く違います。これからも募金活動、復興応援バザーなどを続けて協力していこうと思います。（A）

シメオン増田一郎、アレキサンドラ増田正子、アナスタシア長谷川和代、ニキフォル廣石和朗、エレナ廣石淑子、イリナ近藤美江、ニーナ半田幸子、マリア松島純子

4. 山田教会跡地。12月7日、宣教キャラバン。マルコ小池神父、ミハイル対中神父、近隣教会信徒によって十字架が立てられた。

5 何もなくなった茫漠とした街の跡。ガレキは片付けられたが地盤沈下などがあり復興は進んでいないという。

6、7 難を逃れた気仙沼復活会堂。会堂裏の崖も奇跡的に崩れなかった。

8、9 盛、昇天聖堂。大船渡市も津波の大きな被害を受けたが、聖堂は無事だった。現在修復工事中。イコンは日露戦争時、名古屋の捕虜収容所内会堂用に作られたもの。

10 仙台福音大聖堂。セラフィム座下によるモレーベン。震災で永眠された方のために「永遠の記憶」を祈った。

11 一関、昇天聖堂。ログハウスの聖堂。
12 涌谷、聖イサイヤ会堂。2004年改築。